

# 社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)審査シート

団体名: 特定非営利活動法人地球デザインスクール

訪問調査日: 2011年7月28日(木)

ナビゲーター: 主査 平尾剛之 副査 池田圭一

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1]組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは定款をはじめ、ホームページ・入会案内に明記されており、非営利組織としての位置付けが活動の紹介や決算状況からも確認できる。組織ミッションとの整合性の中、京都府から「丹後海と星の見える丘公園」を指定管理者として受託し、環境教育の推進状況が確認できる。	16/24 達成率 67%
	[2]組織ミッションと事業の策定	中期的ヴィジョンはあるが、文章化する等明確には策定されていない。単年度事業計画は、総会・理事会議案書からも確認ができ、府ポータルサイト等WEB上でも公開されている。また、事業計画は、職員ミーティングで合意形成を図りながら策定されている。	
II. 組織と経営管理	[1]意志決定機関とガバナンス	理事会は年に2~3回、総会は直近の議案書からも適切な開催状況が確認できる。理事等の職務は、「決裁権限一覧」に沿って行われているが、ガバナンスについての課題が認識されている。運営上必要となるコンプライアンスの把握・取組みがさらに望まれる。法人の経営環境は適切に把握・管理されており、法人監事(元銀行員)による内部監査が実施されている。	22/43 達成率 51%
	[2]適切な財務計画と執行・管理	経営計画書は策定されていない。会員60名の会費と寄付実績は認められるが、全体収入の90%以上が指定管理料で占められている。納税等は納税証明書からも適切に行われている状況が確認できる。	
	[3]職員と労働環境	就業規則・給与規定等必要な規定の整備は、社会保険労務士により作成され、今年度から運用されている。「職能資格等級表」等人事考課を実施、毎月1回事務局長が職員面談を行っている。理想とする人材育成のための職員研修等の取組みが望まれる。	
III. 事務局の執行体制と管理	[1]組織・事務局体制の確立	事務所機能は明確であり、決められた時間帯において、いつでも電話・来所対応が可能になっている。事業の性質上夏場の業務体制が敷かれている。登記事項の更新、所轄庁への報告等、必要な手続行われており、事務所に保管されている。	21/31 達成率 68%
	[2]会計全般	経理に関する管理規定は策定されていないが、慣例的なルールに沿って適切に処理が行われている。簿記の資格を有する担当者によって会計処理が行われ、必要に応じて、顧問税理士からアドバイスを受けることのできる体制がある。	
	[3]事業を推進するための体制やルール	「決裁権限規定一覧」に基づいた組織の手続きに沿って、計画された事業がほぼ執行されている。事業終了後の評価には取組みと工夫が望まれる。	
IV. 社会資源の活用	[1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	大学ボランティアセンター等への働きかけやインターンシップの受入れを行っている。京都教育大学・一般財団法人地域公共人材開発機構、ココ・コーラウエスト・モンベル社等、同セクター他セクターとの協働関係が常態的に見受けられる。	12/16 達成率 75%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1]情報の公開	組織・事業情報はホームページや「入会のご案内」「うみほし通信」で公開されており、フロー情報もホームページで随時更新されている。ニュースレターは、3万5千部印刷し地域の方や会員、図書館等に配布されている。	15/18 達成率 83%
	[2]第三者による評価	「子ども夢基金」「内閣府・地方の元気再生事業」等助成実績が確認できる。また、「H17・京都府環境トップランナー賞」他表彰実績が確認できる。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1]組織のリスクマネジメント	書類やデータの保管、管理について規定等も確認できず、取組みにも課題が見受けられる。個人情報保護規定等は策定が望まれる。安全チェックリストを作成し、アドバイザーの指導を受けている。	5/18 達成率 28%
	[2]組織の社会的責任の追求	本来事業の範疇外の活動は確認できないが、組織ミッション上環境の持続性に配慮した取組みが確認できる。その成果確認・評価に関しては取組みが望まれる。	
【相対評価(セルフレビュー)／総括コメント】 当法人は、持続可能社会のモデルづくり、その社会を生きる人材の育成が組織としてのミッションとして運営しています。府立公園の指定管理を受けているために、NPO立ち上げ当初に比べると、事業(予算)規模が大きくなり、スタッフ人員も増加、それに伴って組織としてのルールづくりなども徐々に整備しつつある状態です。 環境教育プログラムの実施を大きな業務として、体験を大切にしながらも、単なる体験で終わらせないよう、感動、学びを意識して事業を実施しています。ミッションと、現実目の前にある業務のギャップ、組織としての弱さ、システムがあるようでないような中での業務、カリスマ的な指導者がいるわけでもなく、常に悩んでいる状態です。組織として脆弱なまま、指定管理事業受託による事業規模が大きくなっているというのが現状です。 現在、一番大きな事業となっている公園の指定管理は、NPO法人としての全てではなく、一事業部門であるという認識のもと、NPO本来の活動がフレキシブルに行えるような、人材の育成や組織づくり、そのための資金調達などが課題です。営利を目的とするわけではなくても、事業のためには資金もしくはそれにかわる(生みだす)人の繋がり、価値が必要であり、地球デザインスクールの理念や事業に賛同する多くの会員、応援者の必要性を感じています。  本法人は、組織ミッションと指定管理事業との整合性を上手く図りながら、ミッション達成にむけた運営状況の推進が見受けられます。しかし、本法人の課題認識のとおり、指定管理事業と自主事業とのバランスが悪く、財源的にも指定管理事業だけに依存せず、本来的な基幹事業の推進が望まれます。持続可能な事業運営にむけて、基幹事業の推進や組織基盤の強化は、すぐにも取り組むべき課題として見受けられますが、本評価においては、組織的信頼性・透明性は確保されており、指定管理事業を事務局を中心に勢力的に展開されていますので、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。			91/150 総合達成率 61%